

まちづくり課

- 新規評価箇所検討一覧表（BBB 評価以上） …P1
- 新規事業概要
 - ・ 街路事業 …P2
- 公共事業新規評価調書（整備系） …P3

新規評価箇所総括表

樣式 2

担当課 まちづくり課

街路整備事業

県土整備部 まちづくり課

1

街路整備事業とは...

- 街路整備事業は、計画的なまちづくりを行うために定められた都市計画道路の内、主として市街地とこれに隣接する地域において行うもので、活力ある都市づくり、安全で安心できる市街地の形成を目的としている。

リンク（通行）機能

人やモノが移動するための機能



公共交通・乗用車・貨物車・自転車・
徒歩等で目的地までの移動が行われる

プレイス（滞在）機能

多様な活動を繰り広げる場としての機能



立ち止まる・座る・食べる・遊ぶ・
買い物をする・パフォーマンスを行う等
の活動が行われる



2

公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部 名	国土整備部	記 入 責任者	まちづくり課 杵藤土木事務所	課 長 所 長	天本 貴子 伊賀屋 豊
------------	-------	------------	-------------------	------------	----------------

事 業 区 分	街路事業 (生活関連事業: 空間再編)	事 業 名	地区名等	総事業費	1,150 百万円 (事務費込み)				
		街路事業	都市計画道路 鹿島駅組知線・鹿島 駅城内線						
事 業 地			着工予定年度	完成予定年度					
鹿島市駅大字高津原			令和7年度	令和11年度					
事 業 目 的		事 業 内 容							
本路線は、都市計画区域マスター・プランにおいて商業・業務拠点として位置づけられている肥前鹿島駅周辺に位置する重要な都市計画道路である。県と鹿島市が一体となり肥前鹿島駅とその周辺を「鹿島・太良地域らしさを感じられるわざわざ訪れたくなる交流拠点」として整備を予定しており、当該区間もその範囲に含まれる。このため、整備区間において交通の秩序化を図り、歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間を確保しつつ、歩道空間の活用による賑わいの創出を図るものである。		事業延長	L = 220 m						
		道路規格	第4種第3級						
		道路幅員	W = 7.0 (16.0) m						
		歩道幅員	W = 3.5 m × 2 (鹿島駅城内線) 3.5 m (鹿島駅組知線: 北側) 4.0 m (鹿島駅組知線: 南側)						
評価の視点	評 価 内 容				評 価				
(1)位置づけ	国土整備部基本方針(都市基盤の整備と利活用の推進に該当) (10/10点)				A (80点)				
	・都市計画マスター・ラン (県の都市計画マスター・ランに位置付けあり) (40/40点) ・都市計画道路の種類 (幹線街路) (10/20点) ・地域の課題への貢献度 (中心市街地活性化に貢献できる道路) (20/30点)								
(2)必要性・効果	・市町の構想や計画との合致 (JR 肥前鹿島駅周辺整備基本計画) (30/30点) ・事業内容・効果の検証プロセス (JR 肥前鹿島駅周辺整備検討委員会) (20/30点) ・多様な活動を生み出す都市空間 (駅前広場と一体となった活用) (30/30点) ・通行機能の確保・向上 (ロータリー、自動車と自転車歩行者の動線交錯解消) (10/10点)				A (90点)				
(3)実施環境	・県民・市民との協働 (要望に配慮した事業) (20/30点) ・まちづくりへの取り組み状況 (街路事業と連携した街並み整備) (40/40点) ・地元関係者等の合意形成状況 (事業化に対する認識が高い) (20/30点)				A (80点)				

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I 優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容

大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)

リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

バリアフリーに配慮している事項(点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

※ 大気・水・土壤・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用

コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

※ 特に記述するがあれば記載。

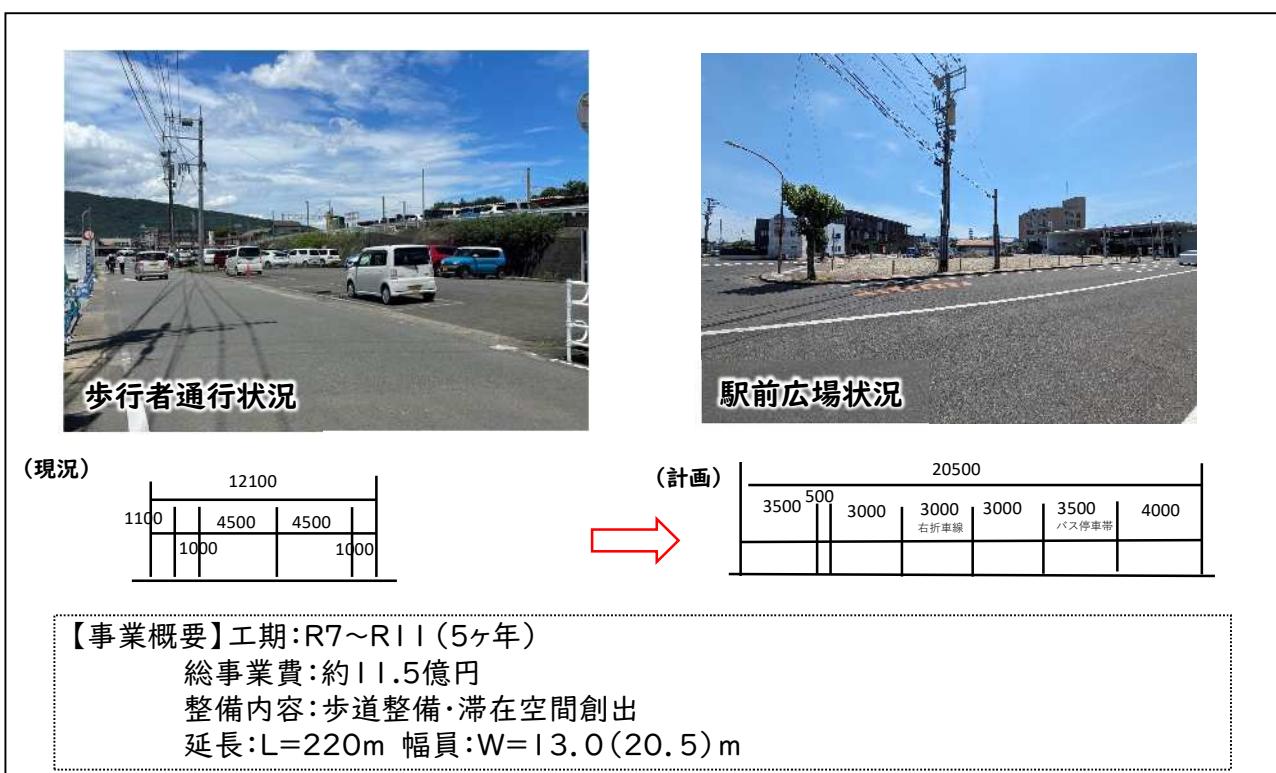
【街路事業:都計道路整備】(都)鹿島駅組知線ほか1路線



1

(都)鹿島駅組知線ほか1路線 (鹿島市高津原)

肥前鹿島駅のロータリー及びアクセス道路の整備を実施



2

公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部 名	国土整備部	記 入 責任者	都市計画課 伊万里土木事務所	課 長 所 長	天本 貴子 桑原 隆浩
------------	-------	------------	-------------------	------------	----------------

事 業 区 分	街路事業 (生活関連事業)	事 業 名	地区名等	総事業費	520 百万円 (事務費込み)	
		街路事業	都市計画道路 八谷搦駅前線			
事 業 地			着工予定年度	完成予定年度		
伊万里市立花町			令和7年度	令和13年度		
事 業 目 的		事 業 内 容				
<p>本路線は、伊万里都市計画区域の中心に位置し、伊万里市中心市街地を東西に横断する重要な幹線道路である。</p> <p>当該区間は、税務署や図書館、高校等が隣接している中心市街地に位置しているが、歩道が無い若しくは狭小であり、歩行者の安全確保が求められる。</p> <p>このため、歩道を整備することにより、児童・生徒をはじめとする歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間の確保を図るものである。</p>		事業延長	L = 250 m			
		道路規格	第4種第3級			
		道路幅員	W = 9.0 (18.0) m			
		歩道幅員	W = 4.5 m × 2			
		用地買収	A = 1, 150 m ²			
		家屋補償	n = 8戸			
評価の視点	評 価 内 容				評 価	
(1)位置づけ	国土整備部基本方針(街路等の計画的な整備に該当) (10/10点)				A (80点)	
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタートップラン (県の都市計画マスタートップランに位置付けあり) (40/40点) 都市計画道路の種類(幹線街路) (10/20点) 地域の課題への貢献度(バス路線、伊万里図書館、伊万里中学校) (20/30点) 					
(2)必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果(B/C) (1.06) [1.0以上2.0未満] (30/40点) 歩行者・自転車等の交通量(歩行者255人/12h、自転車141台/12h) [歩行者500人/日未満かつ自転車500台/日未満] (0/10点) 歩行者・自転車道の設置状況(設置されていない) (10/10点) 幅広歩道自転車道の整備(3m以上~6m未満で整備する) (10/20点) 電線類地中化等計画(地下埋設物(上下水道)計画あり) (10/20点) 				B (60点)	
(3)実施環境	<ul style="list-style-type: none"> 県民・市民との協働(要望に配慮した事業) (20/30点) まちづくりへの取り組み状況 (まちづくりのイメージが策定されている) 伊万里市都市形成戦略 (20/40点) 地元関係者等の合意形成状況 (事業化に対する認識が高い) (20/30点) 				B (60点)	

評 価	ABB	条 件 等
判 断	II	
	事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容

大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)

リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

バリアフリーに配慮している事項(透水性歩道舗装の採用、点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

※ 大気・水・土壤・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容

現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用

コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

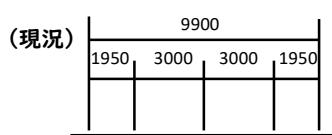
※ 特に記述するがあれば記載。

はちやがらみ
【街路事業】(都)八谷堀駅前線[3工区]



はちやがらみ
(都)八谷堀駅前線[3工区] (伊万里市立花町地内)

伊万里駅北側街路の歩道整備を予定



【事業概要】工期:R7~R13(7ヶ年)

総事業費:約5.2億円

整備内容:歩道整備

延長:L=250m 幅員:W=6.0(18.0)m

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかつたもの】

様式2
担当課 まちづくり課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかつた理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
1	街路	生活関連	街路整備事業	(都) 佐賀駅下古賀線 (城内工区)	佐賀市		城内	街路整備 L=600m	—	—	C	III	各種調査が不十分、地元調整未了のため
2	街路	生活関連	街路整備事業	(都) 泉山大谷線 (2工区)	有田町		上幸平	街路整備 L=120m	—	—	C	III	各種調査が不十分、地元調整未了のため
3	街路	生活関連	街路整備事業	(都) 佐賀駅下古賀線 (駅前交番～郵便局前)	佐賀市		中央本町	街路整備 L=1.2km	—	—	C	III	各種調査が不十分、地元調整未了のため